

チーム名	歌代ゼミ北陸支部	大学・学部	明治大学経営学部	北陸ステージ
プラン名称	#北陸 みつめ旅 ～でかけよう水と心の北陸へ～			
リーダー名	吉田翔	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 () ①北陸の文化振興を促す「観光まちづくり」 (○) ②北陸ならではの資源を活かした「観光まちづくり」	本選出場 【観光庁長官賞】
指導教職員名	歌代豊			
メンバー名	浅井ゆきの、佐藤春音、鈴木萌恵			

①問題認識と現地調査

✓ 過去の北陸ステージ観光まちづくりプランと「北陸物語」・「北陸物語」と過去2年間の北陸ステージの観光まちづくりプラン受賞作品による北陸の観光資源のクロス集計
⇒伝統工芸・自然・食・温泉の資源はスポットを浴びる
⇒あまり着目されていない“心”の資源があり、広めたい

✓ 現地調査
・哲学や文学、信仰の“心”にふれ新しい観光プランの可能性を感じた
・インタビューや実際に訪れることにより、北陸の豊かな自然、とりわけ“水”の資源が印象に残った
⇒現地調査で改めて感じた、魅力はあるが伝えきれていない資源である“心”と、北陸がもつ強い資源である“水”を活かした旅の提案ができないか

②ターゲット

日常を離れて自分のことを考えたい人

① 55-65歳
アクティブシニア

目的
これからの人生について考えたい

② 25-34歳
お仕事女子

目的
キャリアについて考えたい

③本概要のコンセプト

水と心の観点から北陸を旅する
#北陸 みつめ旅の提案
↳北陸の魅力ある資源に触れながら
日常を離れ自分をみつめる旅

SEEDS 豊富な水資源 可能性のある心 × NEEDS 自分について考えたい

左記のシーズとニーズを掛け合わせたのが北陸の水と心を活かしたまちづくり構想

- 新たな旅の形態である#北陸 みつめ旅の提案のために「DMO水と心」を設立
- DMO水と心内で、水と心の観光資源によって各施設や地元の人々をつなぐ“水と心のネットワーク”を構築

水

心

③提案プランの詳細

水と心のネットワークの構築の段階

北陸に点在する魅力ある水と心の資源をひとつにまとめて発信することにより新たな旅「#北陸 みつめ旅」を創出

DMOがネットワークを駆使して一元的に発信することで北陸のブランド力や認知度の向上を図る

いたるところに自分をみつめる機会を与えるスポットが！

ある

① 55-65歳
アクティブシニア

への着地型ツアーの例 (一泊二日)

1日目 福井県大野市	
10:30	石川県金沢駅集合
12:00	福井県大野市到着
12:30	昼食
14:00	宝慶寺で禅と法話を体験
15:00	人力車で城下町めぐり
徒歩で越前おおの城下町を散策	
16:30	植林体験
18:00	夕食
20:00	星空観察・温泉
@六呂師高原	
～大野市内に宿泊～	

2日目 福井県大野市 金沢県かほく市	
8:30	七間朝市・大野城散策
朝倉義景公園	
水まんじゅうを食べて休憩	
@伊藤順和堂	
～地域ボランティアさんとお別れの挨拶～	
12:30	金沢県かほく市に到着
昼食@定食・一品恵比寿	
14:00	西田幾多郎記念哲学館で
哲学カフェ・展示品	
16:30	道の駅高松で
日本海を眺める	
18:30	金沢駅解散

④新規性

- ①3県の共通の魅力として水と心に着目した点
⇒北陸の豊富な観光資源である“水”これまであまりスポットがあたることがなかった魅力ある資源である“心”をつなげたネットワークを構築
- ②水と心のネットワーク構築し、点から面の観光を促した点
⇒個々に独立して存在している水と心の資源を一つにまとめて北陸全体に発信と拡大
- ③“心”に関するニーズを顕在化し、商品化した点

⑤効果・展望

#北陸 みつめ旅で訪れる観光客の想定(人)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
2246	11435	45323	125400	326323

- ・北陸といえば「みつめ旅」「水と心」というイメージや認知度が向上し北陸全土に普及
- ⇒北陸全体の活性化が見込める
- ・観光客の滞在時間を延ばし地域の観光消費額が上がる
- ⇒経済的な発展が見込まれ、地元住民の所得向上に貢献